

<報道関係各位>

2012年2月28日

南三陸町・浜のミサंगा「環」発！未来づくり協議会
三陸に仕事を！プロジェクト実行委員会

東日本大震災からまもなく1年…南三陸町の復興への懸命の歩みと感謝の気持ちを伝えます

復興への祈りを込めて漁網のミサंगाを編む 南三陸町の女性達が、名古屋の皆さんと交流

■3/7(水)13:40~14:20「復興語り特別授業」名古屋市立高見小学校

■3/8(木)10:00~12:00、13:30~15:30、16:00~18:30

「浜のミサंगा環」実演と復興語り 東急ハンズ名古屋店7F・アネックス店9F

南三陸町・浜のミサंगा「環」発！未来づくり協議会は、三陸に仕事を！プロジェクト実行委員会と連携し、「浜のミサंगा環 復興語りキャラバン in 名古屋」を、3月7日(水)、8日(木)に行います。

「浜のミサंगा環 復興語りキャラバン in 名古屋」は、復興への祈りを込めて漁網を使った「浜のミサंगा環(たまき)」を作り続けてきた南三陸町の女性たちが、ミサंगाを作るだけでなく支援いただいた各地の皆さんと復興を語り、ありがとうの気持ちを伝えて交流し、また元気をいただくキャラバンです。

■震災から1年…子どもたちに伝える南三陸町の今。高見小学校の4年生に特別授業を実施。

未曾有の大震災から1年が経とうとしています。宮城県本吉郡南三陸町は、リアス式海岸の穏やかな湾の地形を生かした養殖や豊富な海の幸に恵まれたエリアでした。しかし全ての浜が被災し、水産加工場は大破、養殖業も壊滅的な被害を受けました。1年が経った今でも、津波で失った三陸の港や漁場の復旧はまだまだ進んでおらず、一部でわかめの養殖が再開しましたが、特に仮設住宅で暮らす浜の女性たちには、生活を支える仕事の確保は難しく未だ先の見えない日々が続いています。

この度、漁業や水産加工場で働いていた4人の浜の女性たちが名古屋市立高見小学校を訪問。4年生88名に、南三陸町の現状や震災後の暮らしなどをお話し、漁網を使った手仕事「浜のミサंगा環」の手仕事の実演など交流を行います。

■浜の女性たちが復興へ願いを込め、漁網で手作りした「浜のミサंगा環(たまき)」実演と復興語り

震災で被害を受けた三陸の浜で生まれた「浜のミサंगा環」。いわし漁などに使われる漁網と麻紐を使って浜の女性たちが心を込めて編みこんだミサंगाは、浜から浜へと広がり、これまでに岩手・宮城の約300人の作り手により12万セット以上(2012年1月31日現在)を生産。ミサंगा1セットのご購入で700円以上が被災地の皆さんの賃金となり、被災者の自立支援を目指しています。被災者と支援者をつなぐこのミサंगाは、震災で深く大きな傷を負った浜の女性たちに仕事と仲間、そしてほっとする笑顔をもたらしました。

3月8日(木)は、復興への祈りを込めて、このミサंगाを作ってきた南三陸町の女性たちが、東急ハンズ名古屋店およびアネックス店にて、手仕事の実演を行いながら復興への想いを直接語り、支援いただいた名古屋の皆さんと交流します。(※報道関係の皆様からの取材は、名古屋店にてお願いいたします)

なお本事業は、農林水産省の『食と地域の絆づくり被災地緊急支援事業(農山漁村コミュニティ活性化対策)』の支援を受けて実施しています。

つきましては、報道関係者の皆様には、ご多忙の折かと存じますが万障お繰り合わせの上、ぜひご取材いただきたくお願い申し上げます。

<本件に関する報道関係の皆様からのお問合せ先>

「三陸に仕事を！プロジェクト」広報デスク(プランニング・ボード) 福嶋・瀬尾
TEL: 06-4391-7156 携帯TEL: 090-8163-3160(福嶋)

<一般の皆様からのお問合せ先>

三陸に仕事を！プロジェクト実行委員会 info@sanriku-shigoto-project.com

※大変お手数ではございますが会場準備の都合上、ご取材いただける方は3月6日(火)までにFAX返信用紙または、お電話にてご連絡いただきたくお願い申し上げます。

概 要

- 名称 「浜のミサंगा環 復興語りキャラバン in 名古屋」
- 日時 2012年3月7日(水)、8日(木)
- 主催 南三陸町・浜のミサंगा「環」発!未来づくり協議会
- 企画・運営 三陸に仕事を!プロジェクト実行委員会
- 趣旨 被災地・三陸で生まれた復興への想いを込めた手仕事「浜のミサंगा環」は、震災で深く大きな傷を負った浜の女性たちに仕事仲間、そしてほっとする笑顔をもたらしました。そこで今度は、ミサंगाを作るだけでなく支援いただいた各地の皆さんと復興を語り、交流し、ありがたい気持ちを伝え、また元気をいただく、感謝と復興のキャラバンを行います。
- 内容 **3日7日(水) 三陸の「浜のミサंगा環」作り手女性たちによる復興語り特別授業**
名古屋市立高見小学校4年生88名に、南三陸町で被災した浜の女性4名が訪問
現状や震災後の暮らしなどをお話し、漁網を使った手仕事「浜のミサंगा環」の手仕事の実演など交流を行います。
【日時】3月7日(水) 13:40~14:20 ※報道受付開始 13:25~
【場所】名古屋市立高見小学校
住所:名古屋市千種区高見1-7-1
※地下鉄東山線池下駅下車 徒歩約10分
- 3日8日(木)「浜のミサंगा環」三陸の作り手女性たちによる実演&復興語り**
「浜のミサंगा環」を販売いただいている東急ハンズ名古屋店とアネックス店を南三陸町の作り手女性4名が訪問。
復興への祈りを込めてミサंगाを作ってきた浜の女性たちが、手仕事の実演と販売を行いながら復興への想いを直接語り、支援いただいた名古屋の皆さんと交流します。
「浜のミサंगा環(たまき)」(太・細2本セット/1,100円税込)
ブルーバージョン(青)・ウインターバージョン(緑)・ホワイトバージョン(白)・
さくらなでしこバージョン(ピンク)の4種を手作りしながら販売します。
【時間】10:00~12:00、13:30~15:30、16:00~18:30
【場所】東急ハンズ名古屋店7F
住所:名古屋市中村区名駅1-1-4 ジェイアール名古屋タカシマヤ内7階
※JR名古屋駅すぐ
東急ハンズアネックス店9F
住所:名古屋市中区錦3-5-4 ※桜通線久屋大通駅直結

※報道関係の皆様からの取材は、名古屋店にてお願いいたします

「浜のミサンガ 環（たまき）」について

未曾有の大震災から1年が経とうとしています。避難所から仮設住宅へと住まいは移ったものの、地域の暮らしを支え、生きていくための原動力となる「仕事」はまだまだ得られていません。仮設住宅に移ることで、暖房費を初めとした水道光熱費などの支払いが必要になってきました。被災地にはなかなか思うような仕事が無く、故郷から離れざるを得ない人たちが増えてきています。

これらを打開するために、お金だけのためではなく、やりがい、張りあい、そして未来に希望をつなぐ心の糧を創出する「キャッシュ・フォー・ワーク」を取り入れたのが、三陸に仕事を！プロジェクト「浜のミサンガ 環（たまき）」です。

このプロジェクトは、被災地で雇用を生み、被災地にお金を還流させ、仕事があることで元気を生む、仕組みです。大船渡市三陸町や釜石市などの生産グループ数名でスタートしましたが、浜から浜へ、ついには県を越え 宮城県までの広がりを見せています。震災直後は、家も家族も失って、呆然としてこもりがちになり、未来も希望も見えない日々が続きましたが、囲炉裏で仲間と一緒におしゃべりをしながら、一生懸命ミサンガ作りに励むことで、静かだった被災地に笑い声や、今後の話をする場が生まれました。

“環”とは、日本古来のブレスレットの呼称です。被災地にあった使われない漁網を利用し、ひとつひとつ漁網で編んだオリジナルのミサンガは、被災者の女性たちがグループになって手仕事で作られ、2011年6月に第一期限定販売、その後も東北地方をはじめ全国各地の店舗やインターネットを通じて販売してきました。

ミサンガの販売代金1,100円(1セット・税込)のうち、材料費や販売経費、諸経費を除いた576円が作り手の方々の賃金となります。また、材料である網を切ったりする二次加工を担い、作り手さんをサポートする現地の被災企業・被災者の方々にも1セットにつき154円(為替や材料費の変動で変化)が支払われ、被災地の方々の収入になります。

●キャッシュ・フォー・ワーク報告 2011年12月31日現在

【生産数】	118,028 セット
【販売数】	101,555 セット
【つくり手さんの人数】	298 人
【つくり手さんの収入】	67,984,128 円
【生産管理者さんたちの収入】	10,386,464 円

※キャッシュ・フォー・ワーク(Cash for Work)とは

「労働対価による支援」の訳。被災された方々みずからが復旧・復興のために働き、それに対して対価を支払う支援プログラムのことです。多くの途上国の災害復興の場面で採用されてきた実績があります。例えば2004年のインド洋大津波災害の被害を受けたインドネシア、2008年にミャンマーを襲ったサイクロン災害、2010年のハイチ大地震など、こうした災害では多くのNGOや国連機関によりCFWが実施され、その効果を挙げてきました。

- ・運営母体：三陸に仕事を！プロジェクト実行委員会
- ・事務局：岩手めんこいテレビ・仙台放送・盛岡博報堂・仙台博報堂・博報堂テーマビジネスユニット
- ・活動推薦団体：キャッシュ・フォー・ワーク・ジャパン
代表 永松伸吾（関西大学社会安全学部 准教授）



【FAX返信先：06—6110—7759】

《FAX返信用紙》

「三陸に仕事を!プロジェクト」広報デスク
(プランニング・ポート内) 福嶋・瀬尾 宛

復興への祈りを込めて漁網のミサンガを編む 南三陸町の女性達が、名古屋の皆さんと交流

■3/7(水) 13:40~14:20 「復興語り特別授業」名古屋市立高見小学校

■3/8(木) 10:00~12:00、13:30~15:30、16:00~18:30

「浜のミサンガ環」実演と復興語り 東急ハンズ名古屋店7F

□取材

□3/7(水) 13:40~14:20 「復興語り特別授業」名古屋市立高見小学校

3/8(水) 「浜のミサンガ環」実演と復興語り

□東急ハンズ名古屋店(時頃~)

※報道関係の皆様からの取材は、名古屋店にてお願いいたします

媒体名		
御社名		
部署名		
ご芳名	他 _____ 名様	
連絡先	TEL	FAX

《備考欄》 ご取材につきご要望・ご質問等ございましたら、ご記入願います。

※大変お手数ではございますが会場準備の都合上、ご取材いただける方は3月6日(水)までにFAX返信用紙または、お電話にてご連絡いただきたくお願い申し上げます。